

仲町台駅周辺の自転車・歩行者安全対策に関する実証実験概要

○現地の状況と課題



○実験の目的

- 区間①: 自転車が通行する位置や自転車の押し歩き区間を明示して、自転車の通行位置がどの程度まもられ、安全性がどの程度向上するかを検証する
- 区間②: ブルーライン側の植栽を撤去・自転車が通行する位置を明示して、自転車の通行位置がどの程度まもられ、安全性がどの程度向上するかを検証する

○実験期間

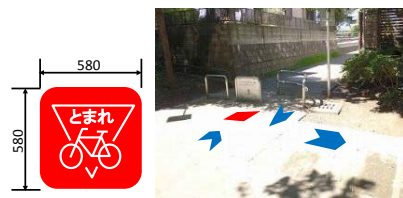
平成27年10月～平成28年3月(予定)

○検証方法

- 観測調査 : 実験実施前・中に、朝・昼・夕の各2時間で観測調査を実施
自転車の通行位置・押し歩きがまもられるかを調査する
- アンケート調査: 実験実施中に、通行人に意識の変化等に関するアンケート調査を実施

【区間①の実験の実施内容】

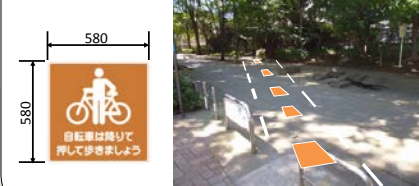
一時停止の路面標示



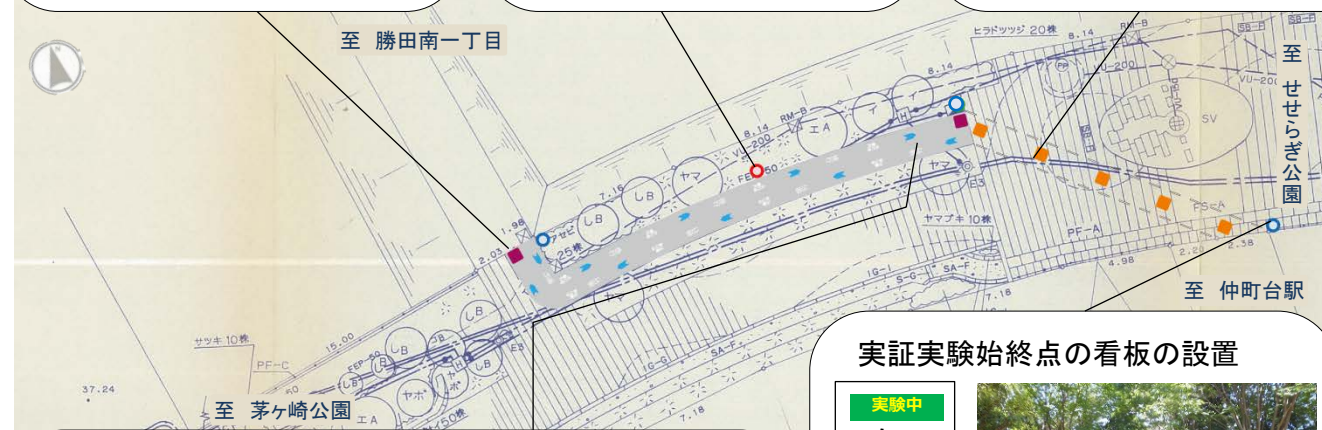
歩行者優先・徐行を促す看板の設置



自転車押し歩き区間の路面標示

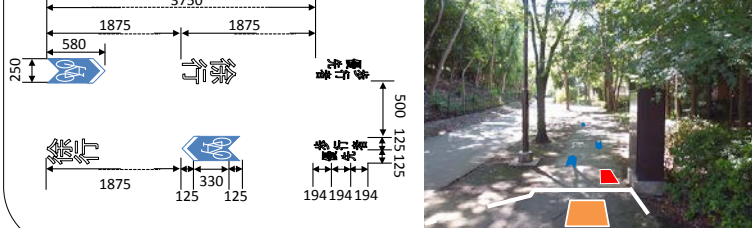


- ・緑道内に、せせらぎ空間が設置されており、通行空間が狭くなっている。
- ・緑道内を長距離にわたって自転車が通行し、歩行者と錯綜している。
- ・駅に向かう経路の一つとなっており、多くの自転車と歩行者が通行している。

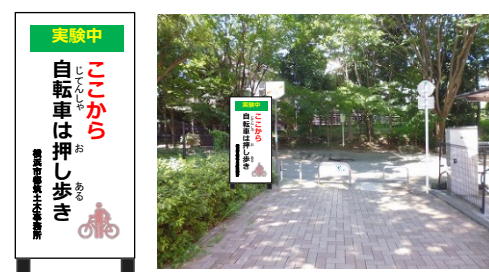


【区間②の実験の実施内容】

自転車の通行位置と進行方向を表す路面標示



実証実験始終点の看板の設置



- 実証実験始終点の看板設置箇所
- 歩行者優先・徐行を促す看板の設置箇所
- 自転車押し歩き区間の路面標示箇所
- 一時停止の路面標示箇所

【区間②の実験の実施内容】

